

平成30年7月
園長だより

鴨池の風

まことの保育

鹿児島竜谷学園
幼保連携型認定こども園
鴨池幼稚園

やさしいところの持ち主は、いつでも、どこでも受難者となる

夕焼け

いつものことだが、電車は満員だった。
そして、いつものことだが若者と娘が腰をおろし、としよりが立っていた。
うつむいていた娘が立って、としよりに席をゆずった。
そそくさと、としよりが坐った。礼もいわずにとしよりは次の駅で降りた。
娘は坐った。
別のとしよりが娘の前に横あいから押されてきた。娘はうつむいた。
しかし、又立って席をそのとしよりにゆずった。
としよりは次の駅で礼を言って降りた。
娘は坐った。
二度あることはと言う通り、別のとしよりが娘の前に押し出された。
可哀相に、娘はうつむいて、そして今度は席を立たなかった。
次の駅も次の駅も、下唇をキュッと噛んで身体をこわばらせてー。
僕は電車を降りた。
固くなってうつむいて、娘はどこまで行ったろう。
やさしい心の持主はいつでもどこでも、われにもあらず受難者となる。
何故ってやさしい心の持主は、
他人のつらさを自分のつらさのように感じるから。
やさしい心に責められながら、娘はどこまでゆけるだろう。
下唇を噛んで、つらい気持で、美しい夕焼けも見ないで。

吉野弘

ご存じですか、

吉野弘作詩の「夕焼け」という現代詩です。どこか、私たちの日常や生き方にも通じるようなところがあるようです。

吉野さんはサラリーマンとして働きながら詩を作り続けました。題材にしたのは、日常の身近な出来事です。夕方の通勤列車で見た光景を詠んだ「夕焼け」では、自分の前に立ったお年寄りに2度席を譲った優しい少女が、3度目には譲らなかったときのことを描きました。

吉野弘さんの詩は等身大の人々を見つめた、やさしいことばの詩で知られ、満員電車の中、お年寄りに席を譲る娘の心情に思いを寄せた「夕焼け」や「祝婚歌」、生まれ、生きることの切なさや尊さを歌った「I was born」は、国語の教科書にも掲載され、多くの人に親しまれました。

また、テレビドラマの「不揃いのりんごたち」や「キルトの家」の劇中でも吉野弘さんの詩が使われました。一度は味わってみたい世界です。

災害時（台風や水害）の対応について

台風などの接近により危険が予想される場合は、休園や自宅待機、または保育の途中打ち切りの措置を取ることがあります。

そのような措置を取る場合は、朝6時までにマメールでご連絡します。マメールが送られない場合は平常どおり開園します。

また、途中で保育を打ち切る場合もマメールか電話連絡を致します。なお、バス降園が難しい場合は、お子さんの安全を考えて園での待機をしますのでお迎えをお願い致します。マメールや電話が不通となる場合もありますので、その際は保護者で安全を第一に考えて判断してください。給食も食材の状況や職員の状況で、中止することがありますので情報にご注意ください。

七夕の集いについて

七夕の集いに向けて各クラスでは飾りつけの準備が進められているようです。どんな笹飾りができるのか楽しみです。出来上がった笹飾りは園内に飾られますのでご覧ください。

また、子どもたちが飾りつけをする笹は大磯様より毎年頂いています。

7月の行事について

- 5日（木）七夕の集い
- 12日（木）園外保育
- 14日（土）鴨池出張所盆踊り
- 20日（金）終業式
年長お泊り保育（～21日）
- 23日（月）県私立幼稚園教職員研修大会
（～24日）指宿市